

お疲れ様でした。勤続42年 栗 和雄さん 65歳

S44.3.25入社、S54.4～横浜営業所、S61.5～横浜支店営業課長、H8.4～本社貿易部、H14～本社営業部



Q ヤナギヤに入社されたきっかけは？

モノづくりに興味があり、学んできた事で、食品機械メーカーで製造から販売まで1つの工場で一貫して行っている会社で、県内でも珍しく、地元でもあることから希望しました。

現在では、高度な加工技術も必要となったことから、外注依存も多くなりましたが、入社当初は鋳物の鋳造品はもとより、汎用品、既製品以外のほとんどを自社製作して、製品組立まで行っていましたので、工程がつぶさに見られ、大変勉強になりました。

また、営業の業務に就きましたからは、装置の改良・改善提案を設計部に依頼した場合、即座に対応して頂いた機械がお客様に届き、満足して使用されているとの声が聞ける喜びは、メーカーであり営業ならではの事と感謝しております。

Qこれが“一番”という思い出の仕事といえは？

現在のマルハニチロ、大洋シーフーズ宇都宮の新工場に世界最大の練り機ボールカッターBC1000の1号機納入に数カ月の全工期に携わったことです。入社当時製作されていた最大の機械は播漬機のR50号昇降式であり、その後、機械も大型化されてきましたが、BC1000は何か建物のように巨大に見えた事を今でも覚えています。

この練り工程の後にソーセージ充填機が10台近く並び、その後400人余りの方が働いておられるわけですから、ただただ故障、トラブルが起こらないようにと祈るばかりでした。



＜栗さん36歳、当時の横浜支店メンバー“精鋭の「澤軍団」”、(表記は現役職)＞

*写真は29年前、親睦旅行で平安神宮を訪れた時の記念写真です。皆、若かった！

Q仕事以外で印象に残っている出来事がありますか？

横浜支店勤務の時、昭和55年12月24日、東北地方の大雪でいわき一郡山間、昼前から翌日夕方まで、30時間4t車に閉じ込められた事です。送電線が切れる等、当時4000台の車が動けなくなり、お客様より頂いた冷凍伊達巻を食べ、空腹を凌いだ事があり、九死に一生を得たようでありました。

Qこれからのヤナギヤに望む事は何ですか？

機械の性能、能力、精度等、従来からみると著しく向上してきましたが、尚一層の性能向上、取り扱い易い機械の開発・改良を期待致します。

又、練り業界に於いては、原料の性状が多種の為、未だ解決できない問題が多くあります。この解決に向けた機械・装置の開発を期待しております。

Qこれからの過ごし方、これから始めてみたい事等は？

趣味のラジコンヘリコプターに興じたいと思います。また、これまで全国各地で仕事をさせて頂きましたが、仕事を離れて、ゆったり旅行をしてみたいと思っています。

Q最後にひとことお願いします。

これまでご支援して下さいました先輩・後輩の方々、北海道から九州・沖縄、外国のお客様迄、沢山の方々にお世話になりました事、この場をかりまして、感謝御礼申し上げます。

横浜支店18年間に在職中に大変お世話になりました東北のお客様におかれましては、3月の大震災で甚大な被害を受けられたこと、悲しみに耐えませんが、ヤナギヤとしましても最大限の対応、協力をさせて頂いており、1日も早い復興と今後のご繁栄をお祈りいたします。

最後となりましたが、ヤナギヤの益々の発展と皆様のご活躍をお祈りいたします。長い間、大変お世話になり、本当に有り難うございました。

42年間、本当にお疲れ様でした。ゴルフコンペで、あの“酔拳打法”が見られなくのはとても残念ですが、これからゆっくりした時間の中で思う存分、「ラジコンヘリ」を大空に飛ばして下さい。

ご来場頂き、誠に有難うございました。

FOOMA JAPAN
INTERNATIONAL FOOD MACHINERY & TECHNOLOGY EXHIBITION
2011国際食品工業展

6月7日(火)～6月10日(金)東京ビッグサイト東全館
総来場者数89,813(海外693)人

第13回 7月27日(水)～7月29日(金)東京ビッグサイト東4・5
「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」



今回は女優の三浦理恵子さんに1日実行委員長として、復興支援募金活動にご協力頂きました。



カマビー&チックル
2001年に山口県かまぼこ組合が製作したキャラクターです。